

第11回（平成28年度第2回）岩手県スポーツ推進審議会

日 時 平成29年1月25日（水）13:30～

場 所 岩手県庁12階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 委員紹介（新委員のみ）

4 会長挨拶

5 議事録署名人選出

6 議 題

(1) 第71回国民体育大会の結果について

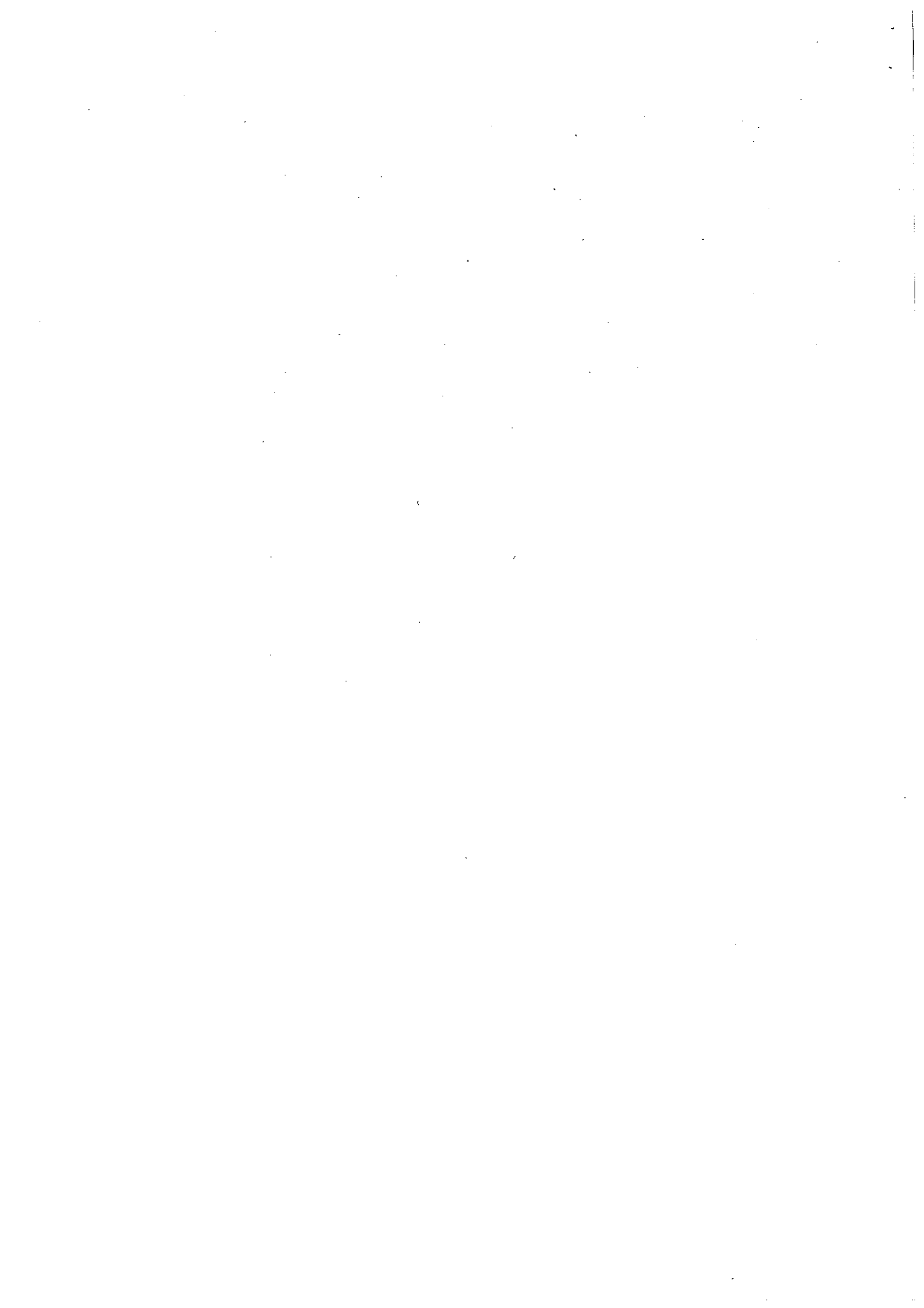
(2) 第16回全国障害者スポーツ大会の結果について

(3) いわて県民計画「第3期アクションプラン」に係る進捗状況について

(4) その他

7 その他

8 閉 会



岩手県スポーツ推進審議会委員名簿

委員任期（平成28年6月23日～平成30年6月22日）

新委員（平成29年1月1日～平成30年6月22日）

	氏 名	職 名 等	第11回 (H28第2回)
1	古 館 英 彦	一戸町教育委員会教育長	出席
2	齋 藤 雅 博	岩手県商工会議所連合会副会長	出席
3	高 橋 光 彦	公益財団法人岩手県体育協会副会長兼理事長	出席
4	清 川 義 彦	岩手県高等学校体育連盟理事長	出席
5	照 井 大 道	岩手県中学校体育連盟理事長	出席
6	菊 池 幸 子	岩手県スポーツ推進委員協議会副会長	出席
7	高 橋 敦 子	岩手県小学校体育研究会広報部員	出席
8	上 濱 龍 也	国立大学法人岩手大学教育学部教授	出席
9	菅 義 行	一般社団法人岩手県医師会常任理事	出席
10	村 田 奈 々	障がい者トップアスリート	出席
11	小 沢 みさき	北京オリンピックホッケー競技女子日本代表	欠席
12	鈴 木 美智代	(公募委員) NPO法人前沢いきいきスポーツクラブ クラブマネージャー	出席
13	土信田 有 紀	(公募委員) カワイ体育教室岩手事務所、スタジオレッスンフ リーインストラクター	出席

岩手県スポーツ推進審議会について

1 審議会の概要

審議会は、本県の実情に即したスポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議するための岩手県教育委員会の附属機関である。

2 開催回数

年2回の開催としている。

3 審議会の設置

スポーツ振興法の全部改正に伴い、スポーツ基本法第31条及び岩手県スポーツ推進審議会条例（平成23年10月25日施行）に基づき設置されたものである。

（都道府県及び市町村のスポーツ推進審議会等）

第31条 都道府県及び市町村に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関（以下「スポーツ推進審議会等」という。）を置くことができる。

（スポーツ基本法第31条）

4 岩手県スポーツ推進審議会条例（平成23年10月25日条例第75号）

岩手県スポーツ推進審議会条例

岩手県スポーツ振興審議会条例（昭和37年岩手県条例第17号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条の規定に基づき、岩手県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

第2条 審議会は、委員13人以内をもって組織する。

2 委員は、スポーツに関する学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから教育委員会が任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長）

第3条 審議会に会長を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。

（意見の聴取）

第5条 審議会は、必要に応じて専門的知識を有する者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第6条 審議会の庶務は、教育委員会の事務局において処理する。

（補則）

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

第71回国民体育大会の結果

希望郷いわて国体

議題(1)

1 概要

【冬季大会】

□ スケート競技会・アイスホッケー競技会

平成28年1月27日(水)～1月31日(日)

岩手県 盛岡市

本県選手団 達増 拓也 団長 以下 82名(選手・監督 72名、本部役員 10名)
(県体育協会会長)

□ スキー競技会

平成28年2月20日(土)～23日(火)

岩手県 八幡平市

本県選手団 達増 拓也 団長 以下 77名(選手・監督 66名、本部役員 11名)
(県体育協会会長)

【本大会】

平成28年10月1日(土)～10月11日(火)

岩手県(12市 10町 3村)

本県選手団 達増 拓也 団長 以下 933名(選手・監督908名、本部役員25名)

2 大会成績

(1) 男女総合成績(天皇杯)

1,924点 2位 (昨年1,099点 16位)

【天皇杯得点を獲得した競技 34競技(昨年25競技)】

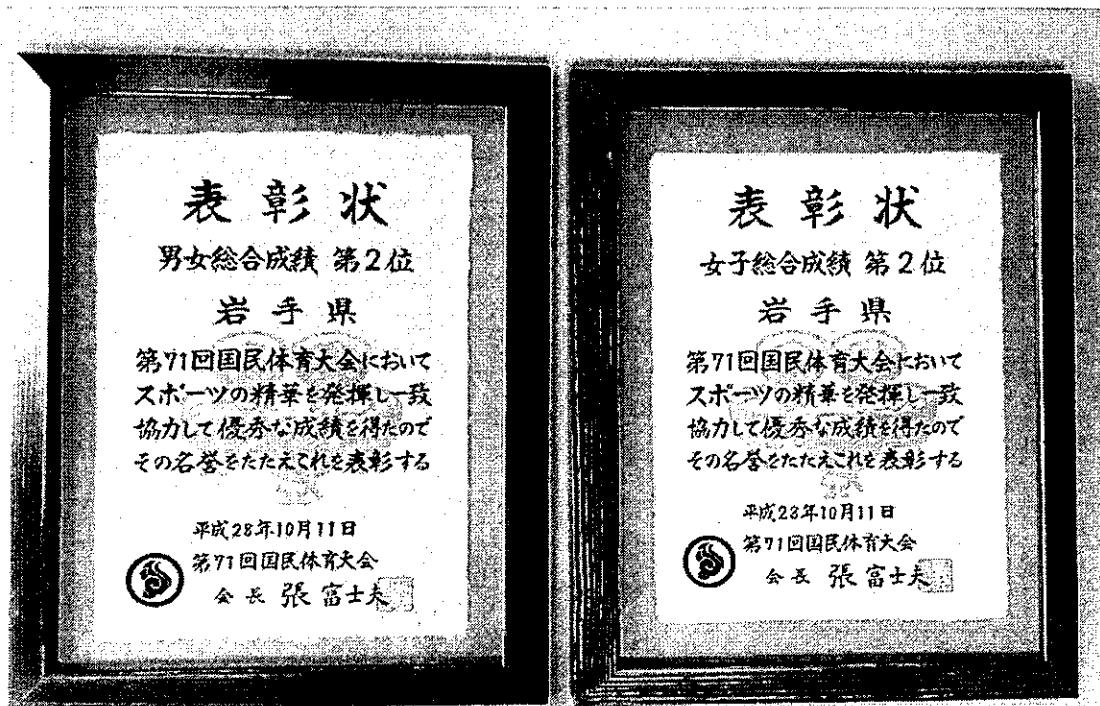
*冬季終了4位(178点)

(2) 女子総合成績(皇后杯)

981点 2位 (昨年 598点 16位) ※過去最高成績

【皇后杯得点を獲得した競技 23競技(昨年13競技)】

*冬季終了8位(61点)



(3) 入賞数

172 内団体入賞 60 (昨年 98 内団体入賞 26)

【入賞競技数 36競技 (昨年 25競技)】

(4) 競技別天皇杯獲得得点と順位

NO	競技名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	競技別天皇杯		競技別皇后杯	
						順位	男女得点	順位	女子得点
1	スケート	44	25	24	12	4位	105	8位	37
2	アイスホッケー					13位	0		
3	スキー	28	3.5	11	0.5	8位	43	13位	4
	冬季大会計	72	28.5	35	12.5	4位	148	8位	41
1	陸上競技	21	6	10		23位	37	37位	6
2	水泳				2	41位	2	35位	2
3	サッカー	20				11位	20	9位	0
4	テニス					22位	0	15位	0
5	ボート	20	12	3	25	11位	60	9位	37
6	ホッケー	20	20	48	56	3位	144	2位	76
7	ボクシング	14	5.5	10.5		4位	30	3位	5.5
8	バレーボール	25	17.5		17.5	3位	60	4位	35
9	体操	35	20		15	6位	70	7位	35
10	バスケットボール			27.5		10位	27.5	13位	0
11	レスリング	19	7	16		6位	42	2位	7
12	セーリング	3	9	18	12	7位	42	8位	21
13	ウエイトリフティング	31		8		15位	39	17位	0
14	ハンドボール	12.5		12.5		13位	25	15位	0
15	自転車	34		5		6位	39	18位	0
16	ソフトテニス	5		20		11位	25	14位	0
17	卓球					21位	0	14位	0
18	軟式野球	16				7位	16		
19	相撲	0				16位	0		
20	馬術	9	6	7		12位	22	15位	6
21	フェンシング	24	9		12	6位	45	8位	21
22	柔道		7.5			12位	7.5	8位	7.5
23	ソフトボール		20		44	5位	64	2位	64
24	バドミントン			7.5		12位	7.5	14位	0
25	弓道	9	18		21	5位	48	4位	39
26	ライフル射撃		8			30位	8	16位	8
27	剣道	40	24	30	40	1位	134	1位	64
28	ラグビーフットボール	15				17位	15	9位	0
29	山岳	9		45		6位	54	19位	0
30	カヌー	10	5	36	52	4位	103	4位	57
31	アーチェリー	6	15			8位	21	7位	15
32	空手道	60	7.5	9.5	7.5	1位	84.5	2位	15
33	クレー射撃	21				4位	21		
34	なぎなた		27		30	2位	57	2位	57
35	ボウリング		2	4		28位	6	19位	2
36	ゴルフ			0		20位	0	9位	0
37	トライアスロン					11位	0	7位	0
	本大会計	478.5	246	317.5	334	—	1,376	—	580
	71国体計	550.5	274.5	352.5	346.5	2位	1,524	2位	621
	天皇杯競技得点獲得競技	26	22	20	15	※ 競技得点はないが、入賞あり(相撲・ゴルフ)			

(5) 岩手県選手の入賞数比較

順位	71回いわて	70回和歌山	69回長崎	68回東京	67回岐阜	66回山口	65回千葉	64回新潟
1位	20 (6)	7 (2)	5 (1)	4 (1)	0 (0)	4 (0)	3 (1)	4 (1)
2位	16 (5)	8 (1)	5 (0)	8 (1)	5 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (1)
3位	22 (11)	14 (4)	8 (0)	12 (3)	6 (1)	8 (4)	12 (1)	5 (1)
4位	20 (4)	12 (4)	7 (2)	5 (1)	4 (0)	5 (0)	6 (2)	5 (2)
5位	35 (19)	19 (6)	20 (5)	13 (4)	18 (7)	12 (1)	14 (5)	15 (4)
6位	19 (7)	12 (2)	10 (5)	12 (2)	10 (3)	4 (0)	2 (0)	9 (1)
7位	18 (5)	15 (5)	11 (2)	13 (4)	9 (1)	1 (0)	9 (2)	6 (1)
8位	22 (3)	11 (2)	5 (0)	4 (0)	12 (1)	9 (0)	11 (1)	8 (1)
計	172 (60)	98 (26)	71 (15)	71 (16)	64 (14)	47 (7)	59 (13)	59 (12)
入賞 競技数	36	25	20	21	19	14	19	18
天皇杯 順位	2	16	37	23	39	41	33	39

上位等の入賞数

1-4	78 (26)	41 (11)	25 (3)	29 (6)	15 (2)	21 (6)	23 (5)	21 (5)
5位	35 (19)	19 (6)	20 (5)	13 (4)	18 (7)	12 (1)	14 (5)	15 (4)
6-8	59 (15)	38 (9)	26 (7)	29 (6)	31 (5)	14 (0)	22 (3)	23 (3)

※得点対象外も含む

※カッコ内は入賞数のうちの団体入賞数

(6) 国民体育大会成績(競技点)の推移

年回 開催地 競技名	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	直近5ヶ年	
	60回	61回	62回	63回	64回	65回	66回	67回	68回	69回	70回	71回	獲得点計	平均
	岡山	兵庫	秋田	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	平均順位	獲得点
◎ ホッケー	40.0	100.0	80.0	108.0	52.0	116.0	76.0	40.0	156.0	60.0	124.0	144.0	524.0	104.8
◎ カヌー	12.0	45.0	17.0	15.0	25.0	12.0	40.0	19.0	10.0	29.0	94.0	103.0	255.0	51.0
◎ スケート		4.0	6.0	14.0	22.0	16.0	9.0	11.0	22.0	24.0	42.0	105.0	204.0	40.8
◎ ウエイト	13.0	38.0	12.0	14.0	33.0	30.0	39.0	37.0	43.0	31.0	41.0	39.0	191.0	38.2
◎ スキー	52.0	48.0	47.0	49.0	35.0	32.0	27.0	15.0	30.0	43.0	52.5	43.0	183.5	36.7
◎ 陸上競技	29.5	14.0	12.0	22.0	10.0	24.0	3.0	9.0	41.0	43.0	33.0	37.0	163.0	32.6
○ 剣道											25.0	134.0	159.0	31.8
◎ ボート	21.0	8.0	9.0	31.0	25.0	6.0	7.0	27.0	23.5	9.0	32.0	60.0	151.5	30.3
◎ 弓道	30.0		24.0		27.0	24.0	39.0	33.0	6.0	24.0	21.0	48.0	132.0	26.4
○ サッカー		20.0						56.0	48.0			20.0	124.0	24.8
◎ ボクシング		26.5		26.5	7.0	9.5	24.0	7.5	23.0	28.0	24.0	30.0	112.5	22.5
○ 山岳		27.0	39.0	33.0	39.0	27.0		15.0	21.0		21.0	54.0	111.0	22.2
◎ レスリング	26.5	28.0	26.5	18.5	15.5	18.5	8.0	17.0	13.0	15.0	17.5	42.0	104.5	20.9
○ ハンドボール			12.5	12.5	12.5	25.0	30.0	12.5	40.0	25.0		25.0	102.5	20.5
○ ラグビー	28.0			12.0		44.0		44.0		12.0	19.5	15.0	90.5	18.1
△ 空手道						2.5						84.5	84.5	16.9
○ フェンシング											39.0	45.0	84.0	16.8
○ ソフトボール								20.0				64.0	84.0	16.8
○ なぎなた				3.0		3.0			6.0		12.0	57.0	75.0	15.0
○ 体操(新体操含)	17.5		20.0	5.0							5.0	70.0	75.0	15.0
◎ 自転車	11.0	6.0	4.0	7.0	2.0	1.0	8.0	8.0	10.0	2.0	12.0	39.0	71.0	14.2
○ バレーボール											7.5	60.0	67.5	13.5
◎ クレー射撃					18.0	15.0		6.0	12.0	9.0	18.0	21.0	66.0	13.2
◎ 馬術		8.0	9.0	3.0	4.0			6.0	6.0	5.5	20.0	22.0	59.5	11.9
○ セーリング	29.0	3.0		9.0		6.0					6.0	42.0	48.0	9.6
○ アーチェリー		15.0	9.0							15.0		21.0	36.0	7.2
○ 柔道			7.5								24.0	7.5	31.5	6.3
◎ ライフル射撃	6.0			7.0	4.0	1.0	4.0	7.0	3.0	9.0	4.0	8.0	31.0	6.2
△ バスケット			12.5		12.5							27.5	27.5	5.5
△ ソフトテニス												25.0	25.0	5.0
○ 銃剣道									15.0	6.0		-	21.0	4.2
△ 軟式野球			56.0									16.0	16.0	3.2
△ 卓球										15.0			15.0	3.0
△ 相撲		15.0	7.5	7.5					12.5			*入賞あり	12.5	2.5
○ 水泳			5.0	4.0			1.0		2.0	3.0	2.0	2.0	9.0	1.8
△ バドミントン												7.5	7.5	1.5
△ ボウリング	7.0	8.0			1.0							6.0	6.0	1.2
△ テニス											3.0		3.0	0.6
アイスホッケー													0.0	0.0
ゴルフ			12.0									*入賞あり	0.0	0.0
トライアスロン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
競技獲得点合計	322.5	413.5	427.5	401.0	344.5	412.5	315.0	390.0	543.0	407.5	699.0	1,524.0		712.7
成年男子	75.5	125.5	190.5	130.0	89.0	159.5	61.5	195.5	122.0	113.0	199.0	550.5		336.0
成年女子	19.0	79.5	46.5	56.0	11.0	68.5	34.0	90.0	96.5	68.0	153.0	274.5		136.4
少年男子	181.5	154.0	177.5	118.0	184.5	125.5	163.5	86.5	238.0	144.5	202.0	352.5		204.7
少年女子	46.5	54.5	13.0	97.0	60.0	59.0	56.0	18.0	86.5	82.0	145.0	346.5		135.6
天皇杯順位	42	34	34	36	39	33	41	39	23	37	16	2	※直近5ヶ年の競技点合計値	
皇后杯順位	42	39	44	35	44	37	39	40	27	33	16	2	※当列入賞の総数	
得点獲得競技数	14	17	21	20	18	19	14	19	21	20	25	34	○2人以上入賞の総数	
													△1人以上入賞の総数	

(7)天皇杯得点 種別毎獲得点数の推移

県名	天皇杯		皇后杯	
	順位	得点	順位	得点
東京	1	2,532.5	1	1,322.5
岩手	2	1,924.0	2	981.0
埼玉	3	1,893.0	4	970.0
千葉	4	1,777.5	3	979.0
愛知	5	1,676.0	7	919.0
大阪	6	1,642.0	6	951.0
愛媛	7	1,531.0	5	988.0
神奈川	8	1,520.0	9	751.0
北海道	9	1,408.0	10	743.5
岐阜	10	1,354.5	13	733.0
兵庫	11	1,293.0	11	735.0
京都	12	1,289.0	8	790.5
福岡	13	1,286.0	12	734.5
広島	14	1,192.5	15	655.5
岡山	15	1,146.0	16	653.5
静岡	16	1,093.5	20	588.5
新潟	17	1,054.0	19	610.5
福井	18	1,052.5	17	645.5
長野	19	1,041.5	18	623.5
和歌山	20	1,008.5	29	544.0
富山	21	988.5	21	586.5
茨城	22	981.5	14	660.5
山梨	23	953.5	23	566.0
宮城	24	948.0	26	558.0
群馬	25	934.0	25	565.5
山形	26	929.0	23	566.0
三重	27	920.0	39	459.5
長崎	28	919.5	35	491.0
山口	29	906.5	34	491.5
栃木	30	903.5	41	452.5
熊本	31	899.5	22	566.5
鹿児島	32	895.0	28	551.5
滋賀	33	888.0	38	466.5
奈良	34	869.0	37	470.0
福島	35	843.5	31	519.5
石川	36	838.0	32	508.5
秋田	37	817.5	36	486.5
大分	38	786.0	42	447.5
宮崎	39	768.5	44	440.5
青森	40	759.5	40	458.5
香川	40	759.5	30	527.0
鳥取	42	753.5	27	554.0
佐賀	43	739.5	33	493.0
沖縄	44	702.0	45	419.0
島根	45	632.0	43	444.0
徳島	46	540.5	46	380.0
高知	47	455.5	47	373.5

成年男子		
27和歌山	71岩手	得点
和歌山	東京	805.5
埼玉	岩手	577
愛知	千葉	484
東京	神奈川	457
京都	埼玉	373.5
神奈川	埼玉	346
北海道	愛知	365.5
千葉	和歌山	342
福岡	愛媛	326.5
大阪	北海道	299.5
岡山	静岡	288
愛媛	岐阜	272.5
奈良	福岡	254
長野	福山	239.5
栃木	岡山	218.5
三重	三重	213
京都	京都	199
広島	広島	193.5
大分	宮城	192.5
秋田	富山	189.5
熊本	福井	172.5
岐阜	山梨	210.5
宮崎	群馬	195.5
長崎	新潟	163.5
新潟	長野	163
三重	山口	179.5
香川	滋賀	175.5
福井	兵庫	172
静岡	大分	156.5
山口	大阪	169.5
群馬	奈良	165.5
宮城	秋田	161
富山	鹿児島	142
石川	熊本	134
広島	福島	133.5
滋賀	宮崎	133
福島	山形	130.5
山梨	長崎	130.5
鹿児島	石川	130
青森	沖縄	121.5
沖縄	茨城	102.5
茨城	佐賀	99.5
香川	高知	92.5
鳥取	佐賀	74
佐賀	島根	64
沖縄	青森	85
島根	山形	63.5
徳島	鳥取	43
高知	徳島	41

成年女子		
27和歌山	71岩手	得点
東京	東京	441
和歌山	愛媛	406.5
大阪	愛知	291.5
埼玉	埼玉	235.5
神奈川	大阪	231
愛知	岩手	222.5
愛媛	京都	215.5
岐阜	北海道	214
兵庫	千葉	210.5
群馬	福岡	190
広島	神奈川	186.5
北海道	岐阜	185
千葉	広島	175.5
福岡	長野	174
神奈川	静岡	169
岐阜	宮城	167
広島	福岡	166.5
兵庫	熊本	160
茨城	岩手	153
新潟	京都	135.5
福井	三重	125
静岡	福井	114
長野	茨城	113.5
宮城	石川	105
福岡	長崎	98.5
熊本	栃木	97
富山	岡山	93.5
佐賀	福岡	89
石川	山口	88.5
山梨	鹿児島	83
滋賀	大分	80.5
秋田	秋田	76.5
和歌山	滋賀	72
三重	鳥取	67
栃木	佐賀	66
奈良	山梨	72.5
鳥取	山形	54
長崎	新潟	65
島根	徳島	49.5
青森	富山	48.5
香川	青森	41.5
沖縄	奈良	32
徳島	宮崎	25.5
香川	沖縄	23
宮崎	香川	21.5
大分	鳥取	15
山形	高知	5

少年男子		
27和歌山	71岩手	得点
福岡	東京	505.5
大阪	埼玉	464
愛知	大阪	451
神奈川	愛知	450.5
埼玉	岩手	424.5
東京	神奈川	344.5
千葉	兵庫	326
和歌山	北海道	305
北海道	岐阜	299
栃木	広島	264.5
長崎	長崎	262.5
岡山	岡山	257.5
長野	千葉	247
兵庫	岡山	213.5
京都	京都	213
熊本	新潟	212.5
滋賀	愛媛	196.5
山形	山形	194
石川	奈良	183.5
岩手	石川	183.5
岐阜	滋賀	176
福島	長野	174
愛媛	茨城	169
香川	静岡	167
宮城	三重	167
山口	青森	166
群馬	山口	165.5
大分	宮崎	163.5
福井	香川	159.5
奈良	熊本	159
茨城	福島	157
静岡	福井	155
三重	富山	144
岡山	栃木	141.5
山梨	山梨	137
鹿児島	鹿児島	131.5
沖繩	沖繩	129.5
宮城	宮城	129
群馬	群馬	123
秋田	秋田	110
佐賀	佐賀	101.5
大分	大分	98.5
島根	島根	96.5
香川	香川	88
和歌山	和歌山	52.5
徳島	徳島	51.5
鳥取	鳥取	49
高知	高知	20

少年女子		
27和歌山	71岩手	得点
愛知	東京	420
東京	岩手	380
大阪	千葉	372
和歌山	愛知	293
千葉	埼玉	274
埼玉	大阪	267.5
岡山	岡山	215
神奈川	神奈川	198.5
北海道	北海道	185.5
兵庫	兵庫	184
長崎	長崎	169
京都	京都	161.5
福岡	福岡	158.5
愛媛	愛媛	149.5
岩手	岩手	145
岐阜	岐阜	144
静岡	静岡	141.5
広島	広島	138
長野	長野	124
滋賀	滋賀	114
香川	香川	112
大分	大分	98
山梨	山梨	93.5
鳥取	鳥取	92
山口	山口	92
群馬	群馬	89
三重	三重	87
福井	福井	86.5
佐賀	佐賀	83
熊本	熊本	82
富山	富山	76.5
茨城	茨城	75
宮崎	宮崎	70
栃木	栃木	67.5
山形	山形	66.5
鹿児島	鹿児島	64
島根	島根	52
奈良	奈良	51.5
福島	福島	51.5
新潟	新潟	51.5
高知	高知	45.5
青森	青森	43
沖縄	沖縄	43
徳島	徳島	38
和歌山	和歌山	37.5
宮崎	宮崎	29
石川	石川	25
奈良	奈良	25
徳島	徳島	16

第16回全国障害者スポーツ大会 (希望郷いわて大会) 結果

1 概要

期 日 平成28年10月22日(土)～24日(月)

会 場 北上市、盛岡市、花巻市、奥州市、一関市、雫石町

参加人数 個人競技選手139名、団体競技選手150名、役員(監督・コーチ・介助者等)147名

合計436名

2 成績

(1) 個人競技別メダル獲得数

陸上競技			水泳			アーチェリー			卓球			フライングディスク			ボウリング			合計		
金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅
26	19	20	17	5	4	2	1	1	4	6	6	5	8	9	1	3	1	55	42	41
65			26			4			16			22			5			138		

(2) 団体競技(主な成績)

(ア) グランドソフトボール

3位(銅メダル)

※団体競技でのメダル獲得は、平成17年の第5回大会でフットベースが優勝して以来、11年ぶり。

(イ) 身体障害者(聴覚)バレーボール(女子) 4位

(ウ) 知的障がい者バレーボール(男子) 5位

(エ) 精神障がい者バレーボール 6位

3 特徴的な選手

(1) 個人競技複数種目優勝者

選手氏名	性別	競技名	種 目
千葉 直希	男	陸上	砲丸投・ジャベリックスロー
大井 利江	男	陸上	50m走・ビーンバッグ投
阿部 信子	女	陸上	ソフトボール投・50m走
東山 江梨子	女	陸上	ジャベリックスロー・立幅跳
菊地 紫	女	陸上	ソフトボール投・砲丸投
鈴木 勝良	男	水泳	25m平泳ぎ・50m自由形
立谷 大祐	男	水泳	50m自由形・50mバタフライ
今野 房子	女	水泳	25m自由形・25m背泳ぎ
村田 奈々	女	水泳	50m自由形・25m自由形
高橋 禎子	女	水泳	25mバタフライ・25m背泳ぎ

(2) 大会記録更新者

選手氏名	性別	競技名	種目	記録	旧記録
菊地 正範	男	陸上	50m	7秒57	7秒69
小野寺 祐一	男	陸上	ソフトボール投	64m66cm	63m90cm
大井 利江	男	陸上	50m	20秒46	33秒81
東山 江梨子	女	陸上	立幅跳	1m43cm	記録なし
中田 章紀	男	陸上	砲丸投	5m23cm	記録なし
村田 奈々	女	水泳	50m自由形	35秒22	36秒36
村田 奈々	女	水泳	25m自由形	16秒23	16秒45
佐々木 彩	女	水泳	50m背泳ぎ	50秒42	1分02秒73

4 メダル獲得数の推移

	陸上競技			水泳			アーチェリー			卓球			フライング ディスク			ボウリング			合計			
	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	
今大会	26	19	20	17	5	4	2	1	1	4	6	6	5	8	9	1	3	1	55	42	41	138
15回	6	8	5	6	2	0	0	1	0	0	2	3	2	0	0	0	0	0	14	13	8	35
14回	3	3	4	3	1	0	0	0	0	1	2	1	0	2	2	0	0	1	7	8	8	23
13回	1	1	4	4	0	0	0	0	1	0	2	0	1	2	1	0	1	0	6	6	6	18
12回	3	3	5	3	1	0	0	0	1	3	0	1	1	1	0	0	0	0	10	5	7	22

いわて県民計画「第3期アクションプラン」

『政策項目 No. 26 健やかな体を育む教育の推進』に係る進捗状況

---みんなで目指す姿---

児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図っています。

指 標	現状値 H26	H27	H28	H29	H30
◎①体力・運動能力調査の総合評価 (5段階：A～E)のA・B・C 段階の児童生徒の割合(小学校 5年生・中学校2年生)	79.7%	79.7%	79.7%	80.0%	80.0%
		79.9%	80.1%	—	—
②「定期健康診断」の肥満度が正 常の範囲内の児童生徒の割合 (小学校5年生・中学校2年生)	85.9%	85.9%	86.1%	86.3%	86.5%
		86.8%	86.3%	—	—

(上段：目標値、下段：実績値)

1 現状

- (1) 体力・運動能力調査の「総合評価(5段階：A～E)のA・B・C段階の児童生徒の割合」は、昨年度の水準を維持している状況である。校種別では、小学校では増、中学校で微減の状況である。
- (2) 定期健康診断の「肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合」は、昨年度よりも微減の状況である。校種別では、小・中学校とも微減の状況である。

2 成果

- (1) 体力向上については、地区別授業改善研修会、地区別学校体育担当者会議を開催し、体育・保健体育授業の改善と、学校における体力向上に係る環境づくりの両面から学校を支援することができた。
- (2) 肥満予防・対策については、各種研修会の開催し、担当者の資質の向上を図るとともに、国の委託事業を活用し、肥満予防・対策に係る指導資料を作成することにより、次年度以降の学校における指導の方向性を明確にすることができた。

3 課題

- (1) 学校、家庭、地域の連携による、総運動時間の少ない児童生徒の運動時間と機会の拡充を図る効果的な取組を普及すること。
- (2) 学校、家庭、地域の連携による、肥満予防・対策に係る効果的な指導の普及を図るとともに、食習慣に係る効果的な取組を明らかにするため実践研究を実施すること。

---県の具体的な推進方策---

I 体力向上や運動に親しむ環境づくり

前回と同じ

＜具体的な推進方策指標＞

・体力・運動能力向上に係る目標を設定している学校の割合（％）

	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	89.5	89.5	90.5	90.5	91.0
		96.8	—	—	—
中学校	65.4	65.4	67.0	67.0	68.0
		88.0	—	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

小学校・中学校とも前年度実績を上回る状況である。

（前年度比 小学校：+7.3P 中学校：+22.6P）

2 成果

「希望郷いわて 元気・体力アップ 60 運動」を新規に実施し、1日の運動（遊び）やスポーツに親しむ時間の目安を「60分」と示すことにより、学校の目標設定を促進させることができた。

3 課題

各校において調査結果の分析を行い、多方面から児童生徒の実態を把握すること。

II 健康教育の充実

＜具体的な推進方策指標＞

前回と同じ

・児童生徒の肥満防止に取り組んでいる学校の割合（％）

	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	98.5	98.5	99.0	99.5	100.0
		99.1	—	—	—
中学校	75.0	75.0	78.0	78.0	80.0
		92.2	—	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

小学校・中学校とも前年度実績を上回る状況である。

（前年度比 小学校：+0.6P 中学校：+17.2P）

2 成果

学校保健・学校給食・食育関連事業において、重点課題として取り上げるとともに、学校体育関係事業においても、生活習慣と運動習慣を一体的に捉えた取組の必要性を周知することにより、各校の取組を促進させることができた。

3 課題

各校において校内の指導体制の充実を図るとともに、家庭や地域と連携した取組を推進すること。

Ⅲ 指導者の資質・授業力向上

前回と同じ

＜具体的な推進方策指標＞

・体力・運動能力向上に係る研修等の機会を設定している学校の割合（％）

	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	—	84.0	86.0	86.0	87.0
		89.7	—	—	—
中学校	—	60.0	64.0	64.0	67.0
		74.3	—	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

想定した設定よりも多くの学校で研修等の機会が設定されている状況である。

2 成果

地区別研修会等において、中学校区での連携の在り方について協議の場を設定し、地域の現状・課題について理解を深めることにより、担当者の意識が高まり、各校における情報共有の機会設定を促進させることができた。

3 課題

各校において体育科・保健体育科の授業改善に係る研修の機会を設定すること。

いわて県民計画「第3期アクションプラン」

『政策項目 No. 33 豊かなスポーツライフの振興』に係る進捗状況

---みんなで目指す姿---

幼児から高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境が整い、スポーツを楽しみ、またスポーツを支える活動に参画する機会が増えることにより、誰もが心豊かで活力のある健康的な生活を送っています。

また、第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の本県開催を契機に高まった競技力と県民のスポーツに対する関心が更に高まり、ラグビーワールドカップ2019の本県開催や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた取組が活発に行われています。

指 標	現状値 H26	H27	H28	H29	計 画 目 標 値 H30
◎①スポーツ実施率(週1回以上の スポーツ実施率)	52.8%	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%
		51.4%	—	—	—
②国民体育大会天皇杯得点順位	37位	10位台	8位以内	10位台	20位台
		16位	2位	—	—

(上段：目標値、下段：実績値)

1 現状

- (1) スポーツを週1回～2回程度実施する者の割合が昨年度に比べて減ったため、全体としての実施率は低下した。
- (2) 散歩やウォーキング、ラジオ体操など身近なところで個人で行う種目が多く実施されている。
- (3) 第71回国民体育大会強化委員会において目標順位を平成24年度：30位台、平成25年度：30位台、平成26年度：20位台、平成27年度：10位台、平成28年度：8位以内入賞と見直した。
- (4) 平成28年の第71回国民体育大会では、これまでの選手強化の取組が結実し、結果、天皇杯順位2位と8位以内とした目標を上位の成績で達成した。

2 成果

- (1) 平成26年度のスポーツ実施率と比較すると、週3回以上スポーツを実施する者の割合が向上し、年間にまったく実施しない者の割合が減っている。
- (2) 第71回国民体育大会における天皇杯第2位は、1回目(昭和45年開催)の岩手国体後、最高の成績であり、また、皇后杯第2位はこれまでの国体で最高の成績を収めるなどの成果を挙げた。

3 課題

- (1) スポーツを年数回程度あるいは月1回程度実施している者が、週1回以上実施するようになるための機運醸成や環境整備を図っていく必要がある。
- (2) 希望郷いわて国体に向けて各競技団体において蓄積された選手強化のノウハウや、

県、県体育協会と各競技団体が「チームいわて」として力を結集して取り組んだ経験など、岩手国体のレガシーを今後の競技力向上に繋げ、平成29年は天皇杯10位台、平成30年は天皇杯20位台の目標達成に向け、取組を進めていく必要がある。また、医・科学サポート体制についても、これまで培ってきたノウハウを基盤として、さらに発展・拡充し、選手を支援していく必要がある。

---県の具体的な推進方策---

1 スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

<具体的な推進方策指標>

・総合型地域スポーツクラブ会員数（全戸加入除く）（人）〔累計〕

H26	H27	H28	H29	H30
9,494	9,850	10,200	10,200	10,200
	11,056	11,863	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

新規設立クラブが1件あったが、県全体の会員数は微増にとどまっている。廃止したクラブや会員数を大きく落としたクラブは無い。

2 成果

被災沿岸地域の復興に合わせ、新規クラブや準備中クラブの動きが見られた。また、市町村の事業を受託するなど活動の幅を拡げているクラブが出てきている。

3 課題

総合型地域スポーツクラブがそれぞれ置かれている地域課題を認識し、行政等と一層連携した事業展開ができるような支援に取り組む必要がある。

<具体的な推進方策指標>

・岩手県スポーツ推進委員研修会参加率（％）

H26	H27	H28	H29	H30
—	30.0	30.0	31.0	32.0
	25.4	31.7	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

市町村が委嘱するスポーツ推進委員については、各市町村や郡（地区）単位で研修が行われているものであるが、県主催の研修機会を増やすことにより、一層の資質向上を図ることとしており、今年度目標を達成している。

2 成果

初任者研修や市町村会長に向けた研修など、国の研修に派遣したスポーツ推進委員を活用しながら、年間を通して研修機会を確保することができた。

3 課題

市町村によっては参加者の固定化等課題があることから、地域スポーツ活動の推進者として資質向上を図る機運の醸成や参加しやすい研修機会の設定等に努める必要がある。

II 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

<具体的な推進方策指標>

・国民体育大会天皇杯得点獲得競技数（競技）

H26	H27	H28	H29	H30
20	25	34	28	25
	25	34	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

平成 28 年の第 71 回国民体育大会の天皇杯得点獲得競技数は、前年の 25 競技から 34 競技と 9 増となり、目標の 34 競技を達成した。

2 成果

昨年の国体終了後、各競技団体との連携のもと、岩手国体において入賞の可能性が高い種別・種目に重点を置き、強化事業量を大幅に増やすなどの取組を進めたことにより、各競技の競技力の底上げにつながり、目標の 34 競技入賞を果たした。

3 課題

岩手国体に向けて高めた競技力を維持向上させていくためには、これまでの強化事業において蓄積した各競技団体のノウハウを今後活かす方策を構築していくとともに、継続した指導者の養成や育成、医・科学サポートの拡充などを図っていく必要がある。

<具体的な推進方策指標>

・県内指導者の公認資格取得数（人）[累計]

H26	H27	H28	H29	H30
2,498	2,525	2,550	2,575	2,600
	2,607	2,619	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

平成 28 年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に登録された岩手県内指導者の公認資格取得人数は目標を上回った。

2 成果

各種講習会等への参加により、指導者の資質向上が図られている。

また、各競技において、年代別、レベル別等多様なニーズに対応できる指導者が養成されている。

3 課題

日常の指導と資格取得のための講習等の受講の両立を支援する必要がある。

公認資格取得数をさらに増やしていくため、講習会への派遣事業等を推進していく必要がある。

<具体的な推進方策指標>

前回と同じ

・本県関係選手の日本代表選出数（人）[累計]

H26	H27	H28	H29	H30
—	15	30	45	60
	25	—	—	—

(上段：目標値、下段：実績値)

1 現状

平成 27 年度の日本代表選出数（障がい者スポーツ含む）は 25 人となり、目標の 15 人を達成した。

2 成果

岩手国体開催に向けた強化事業の中長期的な取り組みにより、特にジュニア日本代表（19 歳以下）の代表選出数が増えた。

3 課題

岩手国体で培った指導体制及び競技力の維持・発展に努めるとともに、オリンピック・パラリンピック等の国際大会に向けた競技力の強化及び選手の輩出に取り組む必要がある。

<具体的な推進方策指標>

前回と同じ

・プロスポーツチームによる講習会開催回数（回）

H26	H27	H28	H29	H30
50	55	60	65	70
	133	—	—	—

(上段：目標値、下段：実績値)

1 現状

平成 27 年度のプロスポーツチームによる講習会開催回数は 133 回となり、目標の 55 回を大きく上回り達成した。

2 成果

主に児童・生徒を対象とした講習会を県内各地で多数開催したことにより、児童・生徒がスポーツに興味・関心を持つきっかけを提供できた。

3 課題

プロスポーツは、県民に夢や感動を与え、地域の活性化にもつながるものであることから、その果たす役割を理解し、チームや企業と連携した PR 活動・講習会開催等に対する継続的な支援を検討する必要がある。

Ⅲ スポーツ医・科学サポートの推進

<具体的な推進方策指標>

・スポーツ医・科学サポート団体数（団体）

H26	H27	H28	H29	H30
54	55	60	65	70
	64	—	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

スポーツ医・科学体制の充実を図り、いわて国体に向けた競技力向上と被災地を中心に体力向上と健康づくりの支援を行っている。

2 成果

スポーツ医・科学に関する講習会の開催やアスレティックトレーナーによるコンディショニングサポートにより選手のベストパフォーマンスの発揮に貢献した。

また、県内各地においてスポーツ医・科学講習会を開催し、県民の健康づくりとスポーツ医・科学知識の普及を図ることができた。

3 課題

スポーツ医・科学の普及により岩手の競技力の維持・発展を図るとともにより安全で効果的なスポーツ活動と県民の健康づくりを推進する必要がある。

Ⅳ 第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた県民参加の促進

<具体的な推進方策指標>

・運営ボランティア応募実績〔累計〕

H26	H27	H28	H29	H30
—	5,380	5,380	—	—
	8,229	8,229	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の運営には多数のボランティアの協力が不可欠であり、本県においても国民体育大会冬季大会及び本大会の開・閉会式、並びに全国障害者スポーツ大会の開・閉会式及び競技会の円滑な運営のため、ボランティアへの参加を広く県民、企業、学校等に呼びかけ、多くの申込をいただいた。

2 成果

平成27年度末までに目標数を大きく上回る8,229人の応募があり、必要に応じ総合リハーサルで研修を積んだ上で、本番の大会運営に参加していただいた。

なお、運営ボランティアのほか、情報支援ボランティア、全国障害者スポーツ大会における選手団サポートボランティア、各会場での応援やおふるまいなどのおもてなし、花いっぱい運動など、多くの県民の参加により両大会は成功裏に終了した。

3 課題

運営ボランティア等のボランティアをはじめ、様々な形で県民が参加し、大会を成功に導いた経験を貴重な財産として、今後本県も舞台の一つとして開催されるラグビーワールドカップ2019™や東京オリンピック・パラリンピックなどの大きなイベントに活かしていくことが重要である。

V スポーツの振興による地域活性化の促進

<具体的な推進方策指標>

- ・全国知事会が運営するスポーツ施設データベース登録市町村数（市町村）[累計]

（平成 28 年 12 月 1 日現在）

H26	H27	H28	H29	H30
0	12	17	22	27
	12	19	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

スポーツの振興による地域活性化の促進のため、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催に伴い、県内市町村へ、より多くの事前合宿等の誘致を目指すものであり、その広報活動の一環として、同データベースへの登録を推進している。

2 成果

平成 28 年 12 月 1 日現在において、19 市町村（スポーツ施設 86、宿泊施設 67）が登録済であり、今後においても、同サイト更新の都度、登録市町村数が増加していく見込み。

3 課題

誘致実現のためには、情報発信と併せた積極的な誘致活動を展開していく必要がある。

<具体的な推進方策指標>

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会事前合宿等の誘致決定数（件）[累計]

（平成 28 年 12 月 1 日現在）

H26	H27	H28	H29	H30
0	0	1	2	3
	0	2	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

スポーツの振興による地域活性化の促進のため、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催に伴い、県内市町村へ、より多くの事前合宿等の誘致を目指すものである。

2 成果

- ・花巻市：ボート日本代表チーム事前合宿決定（H32. 6-7 予定 於田瀬湖ボートコース）
- ・盛岡市：ホストタウン登録（相手国：カナダ）

今後においても、積極的な誘致活動が図られるよう、機会を捉え、市町村に対しての啓発、情報提供及び支援を行っている。

3 課題

誘致実現のため、市町村と一体となった誘致活動を実施していく必要がある。

VI 障がい者スポーツの振興

前回と同じ

<具体的な推進方策指標>

・障がい者スポーツ指導員数（初級）（人）[累計]

H26	H27	H28	H29	H30
133	178	210	240	270
	183	—	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

障がい者スポーツ指導員を養成するため、障がい者スポーツ指導員の初級講習会を年1回開催している。

2 成果

講習会を通じ、地域のスポーツ指導員を中心に障がい者スポーツに必要な指導技術の習得が進んでいる。

3 課題

障がい者スポーツ指導員の活動の場を広げるよう、障がい者団体、事業所、支援学校、行政機関等関係機関・団体のネットワークを構築していく必要がある。

県内各地域で障がい者スポーツの普及促進が図られるよう、指導員が活動しやすい環境づくりに取り組む必要がある（例、練習等への参加について、指導員の職場から理解が得られやすいような仕組づくり、指導者間の連携体制の構築）。

<具体的な推進方策指標>

・県障がい者スポーツ大会の参加者数

H26	H27	H28	H29	H30
1,538	1,568	1,600	1,600	1,600
	1,568	1,502	—	—

（上段：目標値、下段：実績値）

1 現状

県内障がい者によるスポーツ大会を年1回開催している。

平成28年度は、本大会を希望郷いわて大会のリハーサル大会に位置づけ、平成28年6月4日に個人競技、同月5日及び11日～12日に団体競技が行われた（本県参加者数：延べ1,502人（個人：1,345人、団体：157人））。

2 成果

県障がい者スポーツ大会は、障がい者の社会参加推進のひとつとして大きな役割を担っている。

平成28年度の大会参加者数は目標人数を下回る結果となったが、平成28年10月の希望郷いわて大会への選手確保は達成できた。

3 課題

県内障がい者のスポーツ人口の裾野を広げるため、日常的にスポーツ活動ができる環境づくりに取り組む必要がある（例、活動場所や指導者等の人材確保、練習参加のための交通手段の確保、特別支援学校卒業後の取組継続の支援）。

